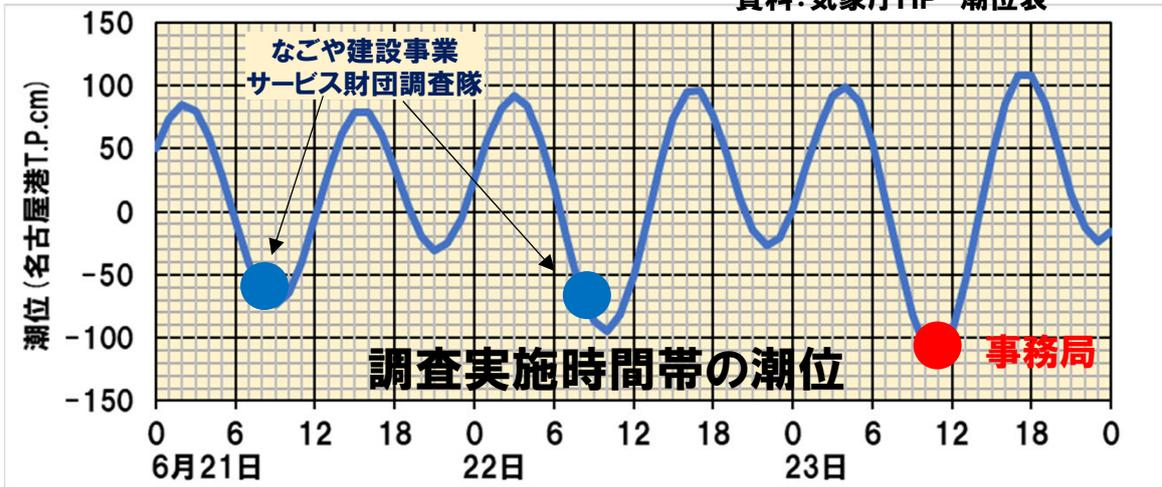


# 新堀川のヘドロ(スカム)の状況

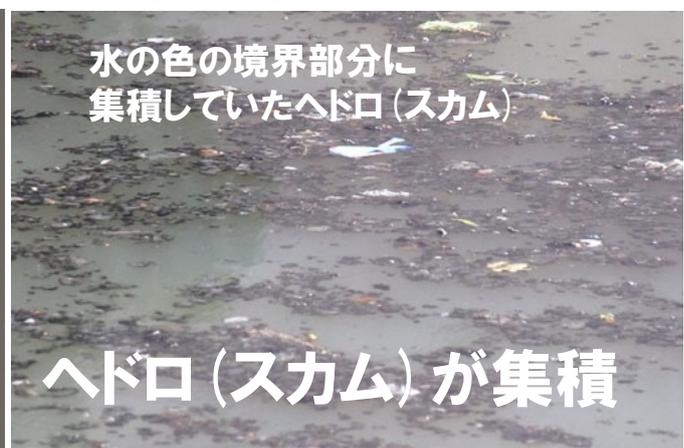
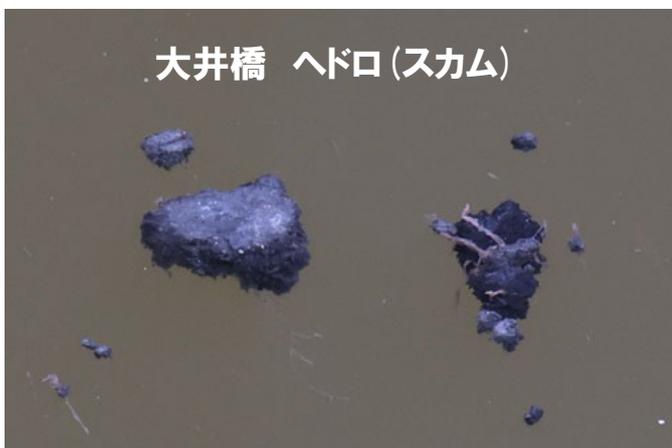
2021年6月23日  
10時～11時

なごや建設事業サービス財団調査隊が21日、22日に実施した大井橋での調査で、“スカムが一面に”というコメントをいただきました。  
事務局で現地の様子を撮影してきました。

資料: 気象庁HP 潮位表



事務局調査 2021年6月23日  
中潮の干潮時間帯10時～11時

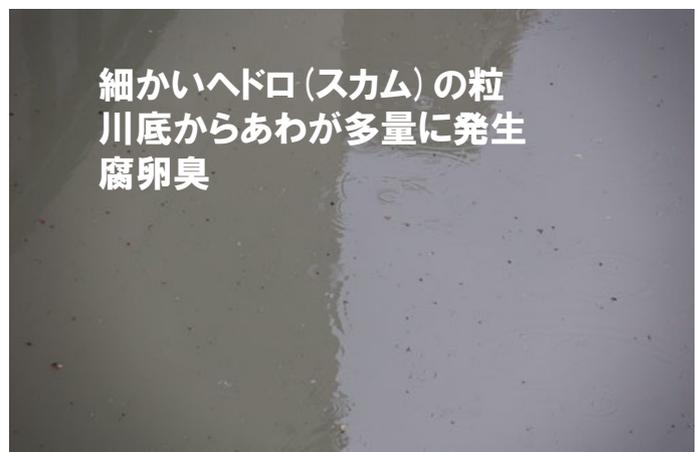
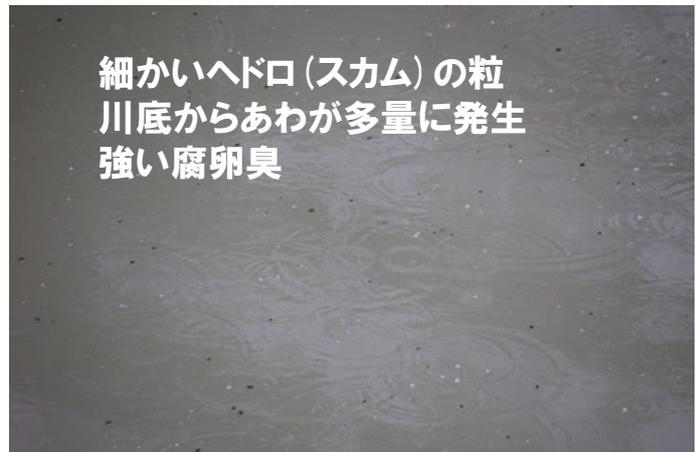
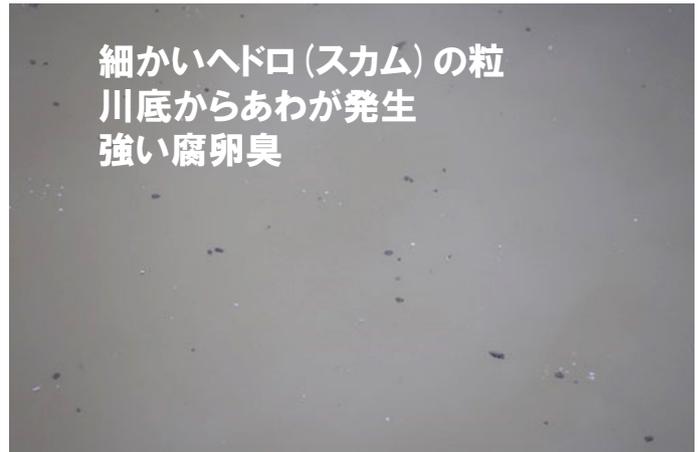


## 新堀川上流区間の様子 舞鶴橋～大井橋間

舞鶴橋～宇津木橋間で川底から泡が発生し、腐卵臭が感じられました。泡と腐卵臭の発生は、鶉橋と記念橋が顕著でした。ヘドロ(スカム)は、すべての橋で見られました。

宇津木橋～富士見橋間で白濁した水(上流側)と緑褐色(下流側)の水の境界を確認しました。

その境界部分には、ヘドロ(スカム)が集積していました。





## 色の境界 宇津木橋～富士見橋間

事務局 2021年6月23日11時15分

宇津木橋～富士見橋間で白濁した水(上流側)と緑褐色(下流側)の水の境界を確認しました。その境界部分には、ヘドロ(スカム)が集積していました。

